



平成30年9月7日

各位

会社名 株式会社 アイリッジ
代表者名 代表取締役社長 小田 健太郎
(コード番号：3917 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 兼 英 一 樹
管理グループ長
(TEL. 03-6441-2325)

連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ

当社は、平成31年3月期（平成30年8月1日～平成31年3月31日）より、従来の単体決算から連結決算に移行いたしますので、平成31年3月期通期業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結決算開始について

当社は、平成30年8月1日付で株式会社 DG マーケティングデザイン（以下「DG マーケティングデザイン」という。）の株式の80%を取得しました。また、平成30年8月1日を効力発生日として会社分割の方式により、当社の電子地域通貨事業を当社子会社の株式会社フィノバレー（以下「フィノバレー」という。）に承継いたしました。このため、平成31年3月期より、DG マーケティングデザイン及びフィノバレーを連結範囲に含め、連結決算へ移行いたします。

2. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年8月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	3,200～3,400	65～105	65～105	20～45	3.06～6.88

(注) 1. 本日公表いたしました「決算期（事業年度の末日）の変更及び定款一部変更に関するお知らせ」とおり、平成30年10月24日に開催予定の第10回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されることを条件に、決算期を7月末日から3月末日へ変更することを予定しております。平成31年3月期は、平成30年8月1日から平成31年3月31日までの8か月決算となります。

(注) 2. 平成30年7月期は、連結決算を行っておりませんので、前年対比は記載しておりません。

(参考) EBITDA 平成31年3月期予想 165百万円 ～ 210百万円

3. 連結業績予想の概要

当社は、「Tech Tomorrow テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」というミッションのもと、O2O（注1）を始めとする、インターネットテクノロジーを活用した新しいサービスの提供に取り組んでおります。

既存のO2O事業につきましては、O2Oアプリの浸透、定着化を背景に、顧客の機能や効果に対する期待度も高度化の傾向が見られます。「O2O事業の更なる進化」をテーマに掲げ、当社の中核ソリューションである「popinfo」を、「アプリデータマーケティング」プロダクトとして進化させ、更なる効果を創出し

てまいります。特に、ロケーションデータを活用したCRM（注2）領域の強化を図ります。また、当社とDG マーケティングデザインとの連携により、「広告～購買～決済～CRM」までの消費者の行動プロセスの全てをカバーするトータルエンゲージメントソリューションの実現を目指します。

新規事業・サービスにつきましても、引き続き積極的に取り組んでまいります。電子地域通貨事業につきましては、フィノバレーへの分社化及びパートナーとの業務資本提携により、よりスピード感を持って事業展開し、「MoneyEasy」のシェア拡大を目指します。また、当社が資本参加した株式会社 DG コミュニケーションズとの連携により、ライフデザイン領域への取り組みも開始いたします。

なお、連結業績予想につきましては、検収時期の変動により売上計上時期のズレが生じるリスク、PMI（Post Merger Integration）や「MoneyEasy」をはじめとする自社サービスの更なる積極展開により、人件費等の費用が増加する可能性を勘案し、通年のみのレンジ形式により開示しております。

以上により、平成31年3月期の連結業績は、売上高3,200～3,400百万円、営業利益65～105百万円、経常利益65～105百万円、親会社株主に帰属する当期純利益20～45百万円を予想しております。

（注1）O2O（オンライン to オフライン）とは、消費者にインターネット（オンライン）上のweb サイトやアプリを通じて情報を提供し、実店舗（オフライン）への集客や販売促進に繋げることをいいます。

（注2）CRM(Customer Relationship Management：カスタマー リレーションシップ マネジメント)とは、顧客の嗜好、属性、利用状況等の情報を分析・活用し、顧客のニーズに合致した情報やサービス等を提供することにより、顧客の利便性と満足度を高め、顧客と企業の長期的な関係を築く取り組みのことをいいます。

平成31年3月期の連結業績予想は、当社並びに連結対象となるDG マーケティングデザイン及びフィノバレーの業績予想を織り込んだ数値となります。

※業績予想は現時点において取得可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上